

早く乾燥、電気代を削減

シマ、生ゴミ処理機に新機種



【高松】シマ(香川県観音寺市、島直幹社長)は、家庭用の生ゴミ処理機「パリパリキューアル PPC-51」を発売した。

ミ減量乾燥機の新機種「パリパリキューアル PPC-51」を発売した。

025年4月から販売する。価格は7万7000円(消費税込み)。

グッドデザイン賞受賞を記念し、先着500台は5万7000円

を短縮し、乾燥時間も短縮し、使用時の電気代も削減した。自社サイトで先行販売を始

(同)で販売する。

同社の生ゴミ減量乾燥機は独自開発の脱臭

機は、ユニットと内部構造で漏らさず、処理後は有機質肥料に使

め、量販店などでは20分低減。電気代は約

20分低減。電気代は約

37円(1キロドット時31円の

前提)で15円下がる。

フタの開閉にはチャ

イルドロック式を採用

したほか、転倒センサ

による自動停止機能

も搭載し、安全性を向

上させた。

同社の生ゴミ減量乾

燥機は、ユニットと内部構造で漏らさず、処

理後は有機質肥料に使

用できるのが特徴。